

總聯合歌

- 一、 見よ東天はあかりみぬ 今こそ我等の曉そ
先人苦斗の結晶は 鐵より固き結束ぞ
折送 いざ立て日本の労働者 總聯合の旗高し
- 二、 古今に貫く眞理もて 武裝で成れる戦士あり
荊棘の道切り開く 我が鋼鐵の規律見よ
- 三、 非道よ來れ暴虐も 彈壓如何に下るとも
恐れじ我等に正義あり 我等死すとも闘はん
- 四、 我等はあくまで屈せんや 天神も見よ地祇もまた
資本の搾取絶ゆるまで 斗ひ抜かんこの誓ひ
- 五、 あゝ我々は産業の 價値と重責身に負ひて
たゞひたすらに進まざらん 我等がめざす新社會

(あゝ、五林の詩)

八 大會宣言(草案)

光輝ある昭和九年度大會に當り我が大阪電球労働組合は年直大膽に宣言する。我等は國家産業の確立を絶対必須のものとし、そのため大阪電球各産業部門にわたる全組織を完成し、以つて産業統制による電球産業界の發展を期し、全従業員的生活諸條件を向上せしむることが、我が大阪電球労働組合の第一の使命なることを確信する。

我が國に於ける電球産業は、内外の需要激増につれて近年こみに発達し、我が國輸出商品中に於ても重慶なる地歩を占め、輸出雜貨の首位にある。而して之が生産工場は外國資本ハツダランを際いては従業員百人以下の所謂中小工場がその中堅をなし、尚家内工業の域を脱せざる幾多の生産工程が行はれてゐる力である。このマツダランプと中小工場とは尖銳に對立し、資本力に於て勝るマツダは、自己の手による日本電球産業統一の野望に燃え、打倒中小工場を唯一のモットーとして、或ひは國外に於けるダンピング策に出で、或ひは國內に於ける材料品の投賣策に出ると、その魔手は